

# 呼吸器内科

## ●スタッフ（平成28年10月1日現在）

診療科長 濑戸口 靖弘

医局長 中山 秀章

病棟医長 富樫 祐基

外来医長 笠木 聰

医師数 常勤 7名

非常勤 8名

## ●診療科の特徴

高齢化の進行とともに呼吸器疾患有する患者が増えている。当科は、呼吸器疾患全般について診療を行っているが、大きな特徴は肺癌、間質性肺炎の呼吸器難病やリンパ脈管筋腫症など稀少疾患の患者さんが関東圏でも多い診療科である。今後も呼吸器疾患の診療に対するニーズが高まってくることが予想され、診療連携を通じ、かかりつけ医や、地域中核病院と役割分担を図りながら、診療を行っていく。

## ●診療体制と実績

当科が対象とする疾患・症状としては、肺癌、間質性肺炎、COPD の他、肺炎、呼吸不全、サルコイドーシス、抗酸菌症（肺結核は原則、専門施設へ）などの診療を行っている。外来は初診（月、水、金午前）と再診（午前と一部午後）の体制をとっており、原則、紹介患者については初診医が対応している。難病等については特殊専門外来、末梢気道外来など専門外来を設けている（詳細はHPで確認お願いします）。病状の落ち着いた患者については、紹介医またはかかりつけ医でのフォローを依頼し、難病、重症等の専門的対応を必要とする患者については、再診医がフォローする体制としている。平成28年度の入院患者は540名で、肺癌が半数を占め、次に間質性肺炎、肺炎等の感染症が占めている。詳細については、グラフを参照いただきたい。

気管支鏡検査 週2回（月・木）午後に定期に実施しており、腫瘍性疾患等では、一泊2日の検査入院で実施している。平成28年では、120名実施した。

